

総合型地域スポーツクラブとは、多様な興味や関心、さまざまな技術レベルを持つ人々が世代を超えて集まり、気軽にいろいろなスポーツを楽しむ。地域に根ざした自主運営型・複合スポーツクラブのことをいう。その事業の立ち上げや活動にもスポーツ振興くじ（toto・BIG）の収益が役立てられており、茨木市立東市民体育館を拠点に活動するNPO法人「茨木東スポーツクラブ レッツ」でも大いに活用されている。

# 「茨木東スポーツクラブレッツ」

スポーツ振興くじ（toto・BIG）の収益が役立てられた活動基盤強化事業を利用して、活動を行う

幅広くクラブの活動に活用される助成金



子どもから高齢者まで、世代を隔れた会員がさまざまなスポーツを通じて、交流を深めている。

受講料を抑えることもでき、地域の方がより利用しやすい環境を実現。助成金には本当に感謝しています。

**スポーツの楽しさと多くの仲間に出会う場所**

今年で6年目を迎えた茨木東スポーツクラブ レッツだが、会員数は年々増えており、口コミを中心に、一步一歩だが着実に地域の人々に浸透してきている。またスポーツ教室の種類も増え、今年度からは小学生を対象とした器械体操教室が新たにスタート。これまで地域で取り組むことができなかった新しいスポーツを紹介し、活動の場を提供することも大きな役割だ。「教室での体験が、子どもたちが新しいスポーツを始めるきっかけになってくれれば嬉しういですね。将来的には、世界に通用するトップ

地域の子もから高齢者まで、いつでも、どこでも、誰でも、いつでも、それぞれに合ったレベルに合わせてスポーツを楽しめることができる。茨木東スポーツクラブ レッツからエプロンやタオル、子ども向けのバドミントンやトランポリンといったスポーツ教室の開催や、各教室から派遣したサッカースポーツ祭をはじめとする各種イベントの運営などを主に手がけている。



NPO法人  
茨木東スポーツクラブ レッツ理事長  
長尾雅子さん

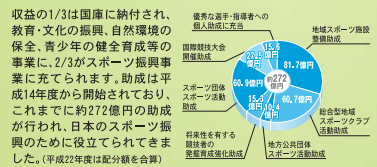
「一人ひとりの出会い、つながりを何よりも大切に、親子や家族で活力ある地域環境づくりが目的です。それがクラブの目的です」と語ってくれたのは、同NPO法人の理事長を務める長尾雅子さん。

スポーツ振興くじの助成金は、施設の使用料や講師への謝礼、備品の購入、パンフレットの制作費など幅広く活用され、クラブの運営を支えている。「経費の一部がスポーツ振興くじの助成金でまかなわれています。おかげで、会員の方の年会費や各種教室の

## あなたの街のさまざまなスポーツ振興に役立てられているスポーツ振興くじ の助成金

スポーツ振興くじ収益金

スポーツ振興くじの収益による助成は、平成14年度から開始されています。これまでに約272億円の助成を行い、日本のスポーツ振興に役立てられてきました。



スポーツ普及に対する助成



**地域スポーツ施設整備助成**  
グラウンドの老朽化など、地域住民が身近にスポーツを楽しむための環境の整備を図ることを目的とします。

**総合型地域スポーツクラブ活動助成**  
地域住民が気軽にスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの育成を図ることを目的とします。

**地方公共団体スポーツ活動助成**  
スポーツ教室・大会等の開催など、地域住民のスポーツ活動の活性化を図ることを目的とします。

**国際競技大会開催助成**  
国内での国際競技大会の開催を円滑に行うことを目的とします。

競技力向上に対する助成



**将来性を有する競技者の発掘育成強化助成**  
将来性を有する競技者を発掘し、育成を強化する体制の整備を図ることを目的とします。

**スポーツ団体スポーツ活動助成**  
スポーツ団体の大会の開催、スポーツ指導者海外研修など、国内でのスポーツ活動の活性化を図ることを目的とします。

**国際競技大会開催助成**  
オリンピック競技大会、アジア競技大会など、国内での国際競技大会の開催を円滑に行うことを目的とします。

### 生涯スポーツ社会を目指して

2010年、日本国民はバンクーバー五輪とサッカー・ワールドカップ(W杯)南アフリカ大会での日本代表の活躍に、沸き返った。両大会を現地で取材し、スポーツが持つ驚くべきエネルギーを改めて実感した。この「見るスポーツ」の感動を、自らが「行うスポーツ」への動機付けに出来ないだろうか。子どもも青年も、熟年もお年寄りも、都会の人でも地方住人も、誰もが、どこでも、自分に適したスポーツを楽しむ社会は、国民を健康にし、幸福にする。文部科学省が打ち出した(スポーツ立国戦略)での一掃手の戦略は「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」だ。21世紀における、我が国でのスポーツの地位を高めて行きたい。

読売新聞東大阪本社編集局部長  
(五輪担当・サッカー推進専務局)  
塩見要次郎